

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	中距離多目的誘導弾	担当部局	経理装備局システム装備課
政策体系	4-1 研究・開発	実施時期	平成22年1月～3月

事業の内容 87式対戦車誘導弾及び79式対舟艇対戦車誘導弾の後継として、ゲリラ・コマンドウ部隊による攻撃等の多様な事態に対処する機能を加えた、中距離域で使用する多目的誘導弾を開発する。	事前評価					
	16	17	18	19	20	完了年度
	← 試 作 →					平成20年度
			←----- 試 験 ----->			経費総額
						約139億円
	事後評価					
	16	17	18	19	20	完了年度
	← 試 作 →					平成20年度
			←----- 試 験 ----->			経費総額
						約122億円

評価の内容

事業の目的 87式対戦車誘導弾及び79式対舟艇対戦車誘導弾の後継として、着上陸侵攻や離島侵攻、ゲリラ・コマンドウ部隊による攻撃等の多様な事態に対し、中距離域で使用する多目的誘導弾を開発する。

②達成時期 平成16年度から20年度にかけて試作、平成18年度から20年度にかけて試験を実施し、所要の機能・性能を有することなどを確認した。
--

今後の対応 今後、陸上自衛隊の普通科部隊への整備を行う。
--

達成状況 ①達成効果 下記の技術等を達成することで、着上陸侵攻や離島侵攻、ゲリラ・コマンドウ部隊による攻撃等の多様な事態に対処しうる機能を備えた、中距離域で使用する多目的誘導弾を開発することができた。 ア 射ち放し技術 イ 同時多目標対処技術 ウ 多用途性 エ システム接続性 オ 量産単価の低コスト化
--

③教訓等事項 本事業を通じて、着上陸侵攻や離島侵攻、ゲリラ・コマンドウ部隊による攻撃等の多様な事態に迅速かつ効果的に対処するための関連技術を獲得し、試験においてこれらの有効性を確認した。

その他の参考情報 平成15年度 事前評価「中距離多目的誘導弾」
